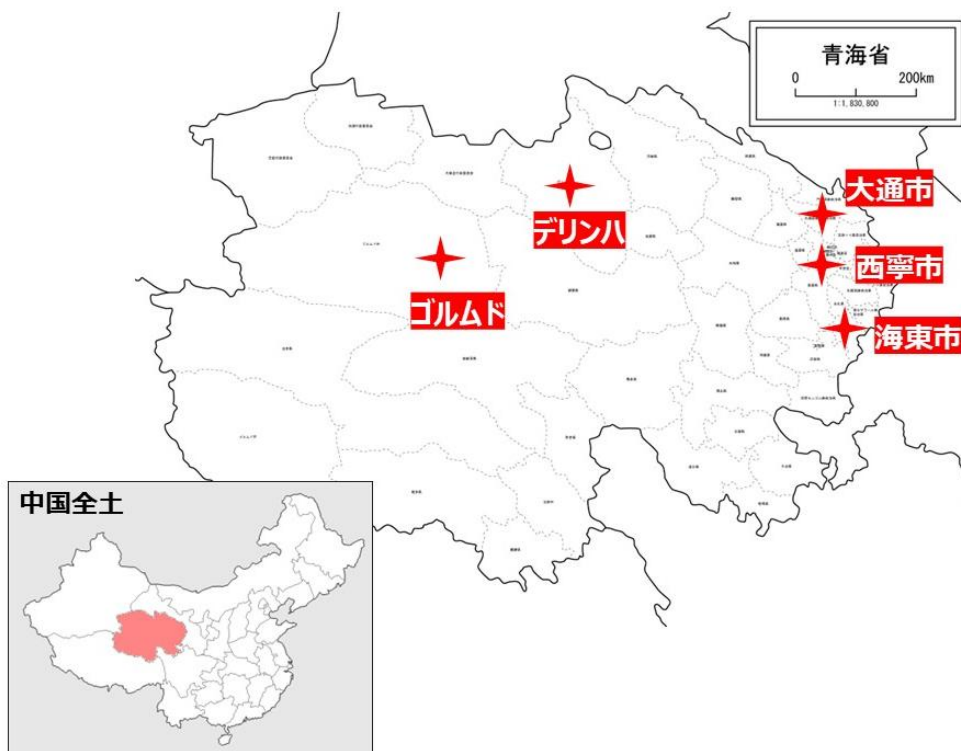


# 青海省概況

## (1) 基本データ

### ◆青海省について



省都	西寧 (せいねい) 市
面積	72.23 万km <sup>2</sup>
人口	594 万人 (男 : 299 万人、女 : 295 万人)
略称	青
行政区	2 地級行政区、6 自治州
書記	呉 曉軍 (ご・ぎょうぐん) * 略歴は後述
代理省長	羅 東川 (ら・とうせん) * 略歴は後述

## <気候>

青海省は大陸性高原気候に属しており、その特徴は強い日差しと少ない雨にある。このために冬が長く夏が短い。また、地域差も激しく、東部では雨が多い一方で、西部では乾燥して風が強く、かつ低酸素という厳しい気候にある。2022年の平均気温は摂氏 3.3 度、平均降水量は 398.8 ミリであった。

## <地形>

青海省は、高原、山脈、峡谷、盆地、台地など複雑な地形を有しているが、省内面積の大半を青蔵高原が占めている。南部を中心に高原が広がり、省内の平均標高は 3,000 メートル、最も高いところでは 6,860 メートル、低いところでは 1,650 メートルと高低差が激しい。北西にはツアイダム盆地、東部には河湟窪地、北東には黄土高原と秦嶺山脈が広がっている。

## <歴史>

青海省が位置する地域は、東は中国王朝、西は中央アジア、北はモンゴル、南はチベットに囲まれ、特に西域諸国と中国王朝を結ぶ東西交通路の 1 つとして、古くから重要な位置を占めていた。様々な遊牧・少数民族の拠点となり、中国王朝と永くその支配を争ってきた地域でもある。古代から遊牧民族の羌族や吐谷渾がこの地を支配し、8 世紀には唐王朝との争いに勝利したチベット系の吐蕃の領土となった。この時、講和条約で唐と吐蕃の国境地として定められたのが、観光地としても有名な日月山である。その後も西夏、オイラトなどチベット系、モンゴル系、漢族と様々な民族がこの地を領有したが、18 世紀に清朝、辛亥革命後は国民党の支配下となり、1928 年に青海省が発足した。

## <行政区>

省内には 2 つの地級行政区、6 つの自治州がある。

	市名称	よみ	一言メモ
1	西寧市	せいねいし	省都。省内人口の 40%を占める。
2	海東市	かいとうし	青蔵高原と黄土高原の境界にあたる。
3	海西モンゴル族チベット族自治州	かいせい-モンゴルぞく-チベットぞく-じちしゅう	省内面積の 45%を占める。中国のウユニ湖と呼ばれるチャカ塩湖で有名。
4	海北チベット族自治州	かいほく-チベットぞく-じちしゅう	州内にある 4 つの県のうち、門源回族自治県のみ回族を自治主体民族とする。
5	海南チベット族自治州	かいなん-チベットぞく-じちしゅう	3~7 世紀に省内地域を支配した吐谷渾の国都が置かれた地。
6	黄南チベット族自治州	こうなん-チベットぞく-じちしゅう	黄南はチベット名で黄河の上流部にある「マチュ河の南」に由来する。
7	玉樹チベット族自治州	ぎょくじゅ-チベットぞく-じちしゅう	チベット寺院の結古寺、新寨瑪尼仏塔などが有名。
8	ゴロク・チベット族自治州	ゴロク-チベットぞく-じちしゅう	サラール族、トゥ族などの少数民族も居住。崑崙山脈の東部に位置するアムネマチン山で有名。

## (2) 経済概況

2021 年における青海省の域内総生産（GRP）は 3,346.63 億元（前年比 5.7%増）、1 人当たりの GRP は 7,908.81 元（同 5.4%増）であった。

項目	陝西省 ※カッコ内は前年比
域内総生産 (GRP)	3,346.63 億元 (5.7%増) 第 1 次産業 : 1,415.23 億元 (4.4%増) 第 2 次産業 : 347,061.85 億元 (6.5%増) 第 3 次産業 : 67,314.40 億元 (5.4%増)
1 人当り GRP	7,908.81 元 (5.4%増)
1 人当り平均可処分所得	2 万 5,919 元 (7.8%増) 都市住民 : 3 万 7,745 元 (6.3%増) 農村住民 : 1 万 3,604 元 (10.2%増)
実質外資利用額	320 万ドル (87.5%減)
輸出入総額	4 億 9,071 万ドル (148.86%増) 輸出総額 : 2 億 2,662 万ドル (149.38%増) 輸入総額 : 2 億 6,409 万ドル (177.93%増)
貨物輸送量	1 億 8,041 万トン (126.82%増) 鉄道 : 3,735 万トン (108.07%増) 道路 : 1 億 4,083 万トン (129.98%増) 民間航空 : 3.61 トン (22.03%減)
旅客輸送量	3,155 万人 (34.40%増) 鉄道 : 821 万人 (7.74%増) 道路 : 1,590 万人 (52.02%減) 水運 : 63 万人 (6.78%増) 民間航空 : 681 万人 (0.88%増)

## (3) 青海省の名所

### 青海省博物館（せいはいしゅうはくぶつかん）

西寧市内、新寧広場の東に位置し、敷地面積 1 万 7,000 m<sup>2</sup>を有する大型博物館。7,4000 m<sup>2</sup>の展示エリアには、旧石器時代からの出土品や文物、無形文化に関する展示品など、青海省の歴史を辿ることができる展示物以外にも、タンカと呼ばれるチベット仏教の宗教画を描いた掛け軸や、金銅仏など、チベット仏教に関する貴重な展示品を多数所蔵している。

## 青海湖（せいかいこ）

青蔵高原北東部に位置し、キルギスタンのイシククル湖に次いで世界で 2 番目、中国で最大の内陸塩湖。海拔が高いために平均気温は 15℃ほどで、真夏でも快適に過ごすことができる。湖は日月山をはじめとした高い山で囲まれており、夏季には山々と緑が湖面に移る美しい景色を楽しむことができる。11 月中旬から 4 月は湖面が凍り、最大で 90cm ほどの厚さになる。また、2 月から 4 月は偏西風の影響で午後から夕方にかけて北西の強風が吹く。



1 月の青海湖（撮影：日中経済協会）



日月山（撮影：日中経済協会）

## チャカ塩湖（チャカえんこ）

西寧市から 300km ほど離れた海西モンゴル族チベット族自治州内に位置し、ツェタム盆地 4 大塩湖の一つ。チャカはモンゴル語で塩を意味する。平均標高は約 3,000m、年間平均気温は約 4℃と、非常に乾燥して寒冷な気候にあり、周囲の山は一年中雪に覆われている。年間降水量が少ないために塩分濃度が非常に高く、食用湖塩が採取できる湖として、4 大塩湖の中で最初に開発された。観光のベストシーズンは 6～10 月で、湖面が鏡のように空を写す神秘的な景色を楽しむことができる。



1 月のチャカ塩湖（撮影：日中経済協会）

#### (4) 青海省指導者の主な略歴

##### 書記：吳 曉軍 (ご・ぎょうぐん)

生年月日：1966年1月(59歳)

出身地：江西省吉安市

最終学歴：江西财经大学工商管理學院産業経済学専攻、経済学博士

民族：漢族

期間	役職
2003.05 - 2006.08	江西省弁公庁副主任
2006.08 - 2017.11	江西省鷹潭市委常委・省工業信息化委主任・省党組書記などを歴任
2014.10 - 2017.11	江西省發展改革委主任
2017.03 - 2021.04	江西省副省長・省委常委・省南昌市委書記などを歴任
2022.04 - 2024.12	青海省委副書記・副省長・省長代理などを歴任
2024.12 - 2025.01	青海省委書記・省長
2025.01 - 現在	青海省委書記・省人大常委主任・省軍区党委第一書記

##### 省長：羅 東川 (ら・とうせん)

生年月日：1965年10月(60歳)

出身地：重慶市

最終学歴：北京大学法学院知的財産権専攻、法学博士

民族：漢族

期間	役職
2013.12 - 2015.07	最高人民法院裁判委員会委・民事裁判第四法廷裁判長
2015.07 - 2017.04	中央紀委案件審理室主任
2017.04 - 2018.07	新疆ウイグル自治区党委常委・紀委書記などを歴任
2018.07 - 2020.07	最高人民法院副院長・知的財産権法廷裁判長などを歴任
2020.07 - 2024.12	福建省党委副書記・政法党委書記などを歴任
2024.12 - 2025.01	青海省委副書記・党組書記
2025.01 - 現在	青海省委副書記・党組書記・省長